

解 答 速 報

東京医科大学 英語

2020年 2月 1日実施

第1問

1. ① 2. ④ 3. ④ 4. ⑤ 5. ②

【講評】

アクセントの位置が異なる語を5つの選択肢から選ぶ問題。標準的な出題である。

第2問

6. ② 7. ⑤ 8. ⑤ 9. ② 10. ①

【講評】

文法・語法・語彙に関する適語補充問題。こちらも概ね標準的な出題だが、10. は表現を知らないと選びづらいか。

第3問

- 11-12. ⑥－① (he was far from being finished)
13-14. ③－⑥ (should make every effort to conform to)
15-16. ⑤－② (goes without saying that if you)
17-18. ③－⑥ (considering firing, left much to be desired)
19-20. ②－④ (very keen on going out to)

【講評】

6語(句)の並べ替え英作文。こちらも概ね標準的な出題だが、一部に熟語や慣用表現の知識が必要なものもある。

第4問

A.

21. ⑰ 22. ⑧ 23. ⑨ 24. ⑤ 25. ④ 26. ⑰ 27. ⑦ 28. ⑫
 29. ⑩ 30. ① 31. ② 32. ③ 33. ⑭

B.

34. ② 35. ② 36. ② 37. ① 38. ③

C.

39. ② 40. ④ 41. ② 42. ②

D.

43. ⑨ 44. ③ 45. ⑤

【講評】

日本のアクセシビリティに関する文章。A. の穴埋め問題は、昨年度と異なりすべて述語的成分の穴埋めとなった。さらに、書き出しが **is** または **are** の選択肢が大半を占めることで、主語の単複による見当をつけやすくなっている。B. や C. は、正答を導くこと自体はさほど困難ではないものの選択肢の語彙レベルが高く、確信を持って選ぶのが難しいかもしれない。

第5問

A.

- 46-51. ④, ⑦, ⑮, ⑰, ⑲, ⑳

B.

- ・海鳥は大量のプラスチックを食べている。(19字)
- ・北極海でもプラスチック汚染が進んでいる。(20字)
- ・温暖化や使い捨て文化が事態を悪化させる。(20字)

【講評】

プラスチックによる海洋汚染に関する文章。本文の分量は昨年度と比べて半ページほど増加したが、A. の選択肢の数は25択から22択に減少した。難解な語彙はほぼなく、非常に読みやすい文章であるが、ミスリードの選択肢はよく作り込まれており、本文の記述との精密な照合が求められる。また、B. の記述問題は新傾向である。

【総評】

昨年度まではオールマーク方式であったが、本年度から記述式問題を出題する旨が募集要項にて宣言されていた通り、大問5に本文の要点を20字以内で3つ抽出する問題が新たに設置された。それ以外の出題形式は概ね昨年度と同様であるが、記述問題が新設されたのに対して試験時間は従来通りの60分間であるため、これまで以上に速読力・情報処理能力が求められる試験となった。

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは YMS ☎03-3370-0410 まで

☎ **03-3370-0410**

受付時間 8~20時 土日祝可
<https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ **0120-146-156**

携帯からOK 受付時間 9~21時 土日祝可
<https://www.mebio.co.jp/>
大阪市中央区石町2-3-12ベルヴォア天満橋